

「東京大学地震研究所彙報」における「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」に関する特集について

首都直下地震防災・減災特別プロジェクトが開始し 3 年目を迎えました。この間、首都圏の小中学校を中心として首都圏地震観測網の整備を行い、現在 178 観測点が稼働しています。また、制御震源地震探査、津波堆積物の採取、過去地震の解析、強震動予測手法や震源断層モデルの高度化に関する研究などが行われ、それぞれ一定の成果を収めています。

そこで、「東京大学地震研究所彙報」では、本プロジェクトに関する特集を企画し、研究論文等を広く募集することにしました。本特集では、首都圏地震観測網の整備やこれまでに行われた探査・調査の概要など、データを主とするもの、発表する適当な専門誌のない論文及び報告を募集いたします。なお、投稿に関する規程等は原稿の締切日以外は全て通常号と同じ扱いです。

編集の都合上、仮タイトルと著者に関する情報を、9月10日までに酒井委員長まで電子メールにてお知らせ下さい。

皆様の積極的な投稿をお願いします。

原稿の締め切り：2009年10月30日(金)

原稿の投稿先：〒113-0032 東京都文京区弥生 1-1-1

東京大学地震研究所地震地殻変動観測センター 酒井慎一

封筒の表紙に朱書きで「首都直下特集号原稿」と明記すること。

特集の発行予定：2010年3月末

彙報投稿規定等は下記を参照して下さい。

<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/BERI/submit.html>

特集号編集委員会

酒井慎一（委員長）、蔵下英司（学術報告委員会担当）、平田直、楠城一嘉、中川茂樹

連絡先：coco@eri.u-tokyo.ac.jp（酒井）